【教科と関連した食に関する指導：理科】

大阪府立富田林中学校

Ｔ１：教科担任

Ｔ２：臨時技師

1．日　時　　　　　令和2年10月15日（木）3限目（10：35～11：20）

2．学　年　　　　　第1学年3組　39名

3．単　元　　　　 理科　1分野　物質・エネルギー編

第3章　『水溶液の性質』

4．授業者　　　　　Ｔ１（教科担任）Ｔ２（臨時技師）

5．ねらい

・清涼飲料水には多くの砂糖が含まれていることを知り、飲み方に注意しようとする意欲を高める。

6．授業の流れ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 活動内容 | 指導上の留意点 | 評価基準 |
| 導入  10分 | 〇小学校での既習事項について復習する。（T1）  ○身のまわりの食事における水溶液にどのようなものがあるかをペアで話し合う。（T2）  ・飲み物  ・スープ  ○普段、どんな飲み物をよく飲むのかを振り返る。（T2）  ・お茶  ・ジュース | ・食事における水溶液を考えることで授業に入りやすくする。  ・混合物等は未習のため、細かくなりすぎないように注意する。  ・自宅だけでなく、外出した時のことも考える。  ・好きな飲み物も同時に振り返る。 | □小学校5年生の既習事項を振り返ることができたか。  △自分自身の生活を振り返ることができる。 |
| 展開  25分 | ○清涼飲料水には砂糖が多く含まれていることを理解し、砂糖を摂りすぎてしまうとどうなるかを知る。（T2）  ・虫歯  ・肥満  ○清涼飲料水に実際、どのくらいの量の砂糖が使われているかを知る。また、清涼飲料水に含まれている砂糖の量と同量の砂糖水を試飲する（T2）  ○カロリーゼロについて知る。（T2） | ・「摂ってはいけない」ではなく「摂りすぎに注意」と助言する。  ・スティックシュガー等を使い、実際に使用されている砂糖の量を目で見られるようにする。  ・商品に対して悪い印象を与えないように気を付ける。  ・ゼロカロリーの表記は実際にカロリーがゼロということではないことを伝え、注意させる。 | △砂糖の摂りすぎが身体にどのような影響があるのかわかる。  △清涼飲料水に含まれている砂糖の量が多いことに気づくことができる。  △食品表示について正しい情報を知ることができる。 |
| まとめ  10分 | ○清涼飲料水の飲み方について考える。（T2）  〇これから気を付けたいことを考える。（T2） | ・飲んではいけないのではなくて飲みすぎには注意するように伝える。 | △清涼飲料水の飲み方に注意しようとする意識が高まる。  △自分自身の生活とも照らし合わせ正しく食を選択しようとする意欲が高まる。 |

□理科観点からの評価基準

△食育観点からの評価基準